

令和7年度 第2回博物館協議会 議事録

日 時：令和8年2月10日（火）14：00～15：05

場 所：八戸市博物館 2階 体験学習室

出席委員：9名

滝尻善英会長、古里淳副会長、元沢弘志委員、川守田礼子委員、
鳥谷部隆雄委員、里村由紀子委員、豊巻裕史委員、大野勉委員、葛西浩子委員
（※欠席1名 平間恵美委員）

事務局：7名

小保内博物館館長、佐々木博物館副館長、下村南郷歴史民俗資料館長、
米田主査、市川主査兼学芸員、野沢主査兼学芸員、小林主査兼学芸員

次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 案件
 - (1) 令和7年度事業実施報告について
 - (2) 令和8年度事業計画について
 - (3) その他

※1～2省略

3 案件（1）令和7年度事業実施報告について 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

ただいま説明のありました件について、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

●委員

2点、ちょっと素朴な質問で恐縮なのですが、まず1点目が3ページ、千葉学園高校さんでいつも作られている中世衣装の復元制作についてです。新聞等で拝見して、毎年非常に楽しみにしております。もう何年か継続になっているプロジェクトだと思うのですが、これまで作られた衣装は、まとめて拝見できるものなのかどうかという質問です。

6ページの(3)「鎧と小袖姿で記念撮影」のときの衣装は、千葉学園高校さんで作られた衣装を活用されているということだと思うのですが、ここで新しく作ったものも移されて活用されるのか、それとも学校で作られているので学校がお持ちなのか、そのあたりを教えていただければと思います。

2点目は6ページの一番下、ものづくり体験工房です。非常におもしろそうな内容だと思いました。先ほど会長からもお話があったように、南部地方を代表する八幡馬と、えんぶりの烏帽子作りということで、とても魅力的なテーマだと思うのですが、参加者の人数が、片方が166人、片方が3人と、かなり大きな差があります。

何か理由があるのか、例えば作業時間が長いとか、難易度が高いとか、その違いがあるのか、知りたいと思い伺いました。

●会長

まず、過去の衣装を見ることができるかという点についてお願いします。

○事務局

千葉学園高校に制作協力いただいている衣装についてですが、委員がおっしゃるとおり「鎧と小袖姿で記念撮影」で毎年活用しております。

制作された衣装は当館で所蔵管理させていただいております。ただ、これまで常設展示として公開はしておりませんでした。

現在、令和2年度からスタートしている史跡根城跡の環境整備事業を進めております。今後、史跡根城跡のメインである主殿という復原建物の改修と、それに合わせて内部の活用空間、展示空間の改修も行う予定です。その中で活用スペースを確保し、これまで制作いただいた衣装を公開していく計画です。

●委員

ありがとうございます。何年も続いているものなので、まとめて見られたら壮観だなと思いました。

●会長

では、ワークショップについてお願いいたします。

○事務局

ものづくり体験工房ですが、毎月、指定管理者から報告を受けております。1月末現在でもミニ烏帽子作りは3名のままです。

●委員

団体利用があった場合など、例えば八幡馬絵付け体験が増えたなど、季節的な要因はありますか。

○事務局

季節的な要因は特にありません。来館された方が体験を選んで参加されている状況です。八幡馬にはクラシックとアレンジの2種類があり、クラシックが166名、アレンジが57名となっております。若干金額の違いもありますので、その点も影響している可能性があります。

●委員

分かりました。ありがとうございます。

●会長

ほかにございますか。

●委員

事業報告の1ページ目です。「こもんじょチャレンジ～横帳を作ろう～」、いい企画だと思うのですが、参加者が2名というのは少し寂しい印象です。広報の際に、内容や魅力をもう少し具体的に伝えていただければよいのではないかと思います。また、古文書研究会など興味を持ちそうな方々へ積極的に声掛けしてもよいのではないかと思います。

○事務局

関係者には実際に声は掛けておりました。ただ、やや専門的な内容であったため参加が伸びなかった部分もあると思います。事前告知の際に「どんなおもしろさがあるのか」

というポイントを絞って周知していきたいと思います。

●会長

参加した2名はどのような方ですか。年齢など。

○事務局

根城のガイドの方です。

●会長

根城史跡ボランティアガイドの方ということだそうです。他にございますか。

●委員

資料2ページの館外フィールドワークについてです。私は小学校に勤めており、子どもたちを中心街へ連れてきて総合的な学習を行うことがあります。「八戸城下巡り」には城内編と入門編がありますが、具体的にどのような場所を見学・紹介しているのか教えていただければと思います。今後の指導の参考にしたいと考えております。

○事務局

八戸城下巡りは、八戸藩の城下町を巡る内容で、現在の中心街周辺を歩いております。

城内編と入門編で若干ルートは異なりますが、八戸城跡周辺から内丸のおがみ霽神社、常海寺あたりを前半で巡り、後半は町人町のエリア、はっち周辺や天聖寺などを回る構成となっております。

●会長

よろしいですか。他にございますか。

●委員

7ページの南郷歴史民俗資料館ミニコレクション展「器」についてです。実際に見学してきましたが、大変楽しめました。資料館には様々な資料がありますが、今回の展示は説明書きが少なかったことで、見る側が自分で考えながら鑑賞することができた点が良かったと思います。

あえて細かく分類せずに見せることで、「これは何だろう」と考えさせる展示方法も一つの在り方ではないかと感じました。今後もテーマを変えながら継続して実施していただければと思います。

●会長

御要望ということですのでよろしいですね。事務局いかがでしょうか。

○事務局

今回は発掘品の展示は見合わせましたが、「器」という大きなテーマであれば幅広い資料を紹介することができます。今後も展示の機会がありましたら、内容を工夫しながら継続していきたいと考えております。

●会長

他にございますか。よろしいでしょうか。

では、私から一つよろしいですか。去年12月に青森県東方沖地震がありましたが、八戸市の指定文化財もかなり破損しています。博物館・南郷歴史民俗資料館の状況について、報告をお願いします。

○事務局

文化財の被害についてですが、市指定の三社大祭関連の江戸時代の山車人形に影響がありました。元々ひびが入っていたのですが、地震の衝撃でそのひび部分から剥離が生じました。大きな剥離ではありませんが、指定文化財としては1点の被害となります。施設・設備については、地震直後には異常は確認できませんでした。しかし、約1か月後、雪が積もった後に気温が高くなった日に屋根からの雨漏りが発生しました。これは、元々あったクラックが地震の影響で広がり、雪解け水が浸入したことによるものと考えられます。

その他、展示室内では細かい被害として、ひびの発生や展示ケースのパーツがわずかに開いた程度のものであります。まとめますと、文化財被害が1点、建物のクラック拡大による雨漏りが1点、これが主な被害です。

●会長

山車人形の修復は終わっていますか。

○事務局

専門の方に確認していただく必要があり、現時点では被害額も含めて未確定です。今後、確認してもらう予定です。

●会長

南郷の方はいかがでしょうか。

○事務局

建物自体の被害はありませんでした。展示物が若干傾いたり倒れたりした程度で、大きな被害はありません。

●会長

説明ありがとうございます。それでは、次に案件2「令和8年度事業計画について」、事務局から御説明ください。

3 案件（2）令和8年度事業計画について 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

ただいま令和8年度の事業計画との博物館リニューアルについて説明してもらいました。何か御意見・御質問がありましたらお願いします。

●委員

博物館の事業計画1ページ目についてです。市民向け歴史講座「さまざまな石」という内容ですが、具体的にどのような内容なのか教えてください。

○事務局

現在は計画段階のため確定していませんが、鉱物や石材関係、そのほかお城の石垣に関するお話を予定しています。

●委員

ありがとうございます。楽しみにしています。

●会長

ほかにございますか。

●委員

資料1ページ目の2(5)「樹木伐採」についてです。私の勤務先の幼稚園では今年の夏、毛虫被害がひどく、薬をかけても来年度に向けて特に子どもが接する木をかなり切りました。史跡根城でも同様の対策として、伐採だけでなく消毒などの計画はあるのでしょうか。

○事務局

アメリカシロヒトリの被害についてですが、史跡根城広場では日常的にモニタリングを行い、発生時には薬剤散布で対応しています。資料にある「樹木伐採」はシロヒトリ対策ではなく、史跡公園の景観を可能な限り当時の状態に近づけることを目的とした取組です。

また、老木化や倒木の危険がある樹木については、近隣住民や来園者への安全確保のため、伐採や剪定を5～6年かけて順次実施します。

ただし、無秩序な伐採はせず、現代の利用状況と当時の景観の両立を意識して、造園業者と契約しながら管理していきます。

●会長

ほかにございますか。

●委員

資料3の博物館リニューアル事業についてです。リニューアル後のイベントや企画は、現時点でどのように計画されていますか。令和9年の再オープンに向けて、市民に楽しみにしてもらえる情報はありますか。

○事務局

子ども向けの専用ゾーンを設ける構想が当初はありましたが、予算査定の中で見送られました。ただし、何もしないということではなく、既存の空間を活用して、子どもが楽しめる仕掛けを木工作家の高橋みのる先生と児童参加で作る計画を進めています。完成後はリニューアルオープン時の初回イベントとして展示・体験してもらう予定です。

●委員

リニューアルに関する取組や情報は、市民に紹介することで楽しみに待ってもらえます。広報や新聞に連載的に紹介するなど、関心を集める工夫があると良いと思います。普段利用しない層にも博物館に目を向けてもらうチャンスですので、検討をお願いします。

●委員

子ども向けゾーンがゼロになったのは残念です。理由を知りたいです。

○事務局

リニューアル事業費4億円のうち、約3億円は設備費で、展示リニューアルに使える費用は1億円程度しかありませんでした。そのため、子ども向け空間を新設する余裕がなかったということです。

●会長

では、ほかにございますか。ないようですので、(3)その他に入ります。

4 案件（3）その他

●会長

委員の皆様から、お一人お一人、御意見、疑問、質問、それから情報提供など、こういうことを行っているという紹介も含め、この機会にお知らせいただければと思います。では席順に従ってお願いしたいと思います。

●委員

確認になりますが、リニューアル事業のうち、展示に係る予算はどれくらいでしょうか。

○事務局

展示費は1億円です。

○事務局

展示リニューアル予算について補足いたします。展示ケースの改修や取り替えに約1億1,500万円かかります。その他、映像等を含む展示関連経費が約1億円です。さらに収蔵庫など保管環境整備や間接経費として約2億円を見込んでいます。

●委員

詳しい御説明ありがとうございます。

●会長

それでは次の方どうぞ。

●委員

私からは根城史跡ボランティアガイドの紹介をします。昨年度のガイドの総数は、4月から12月までで約2,315名でした。令和6年度は2,600名。今年度は、ここから40～50名程度増える見込みです。

ガイドのスキル向上を目的に、昨年はミニ研修旅行と称して館外研修を実施しました。先方の教育委員会に依頼し、現地でガイドをしていただきました。

また、おいらせ町の阿光坊古墳館も見学しました。今後は、2月25日に岩手県北広域振興局から案内をいただき、南部のお城巡り研修会が開催されます。当方だけでなく三戸城のボランティアも参加する予定です。

パネルディスカッションを行うとのことで、当方も岩手県と関係が深いので参加し、意見を述べる予定です。

●会長

続いてお願いします。

●委員

本日も御説明ありがとうございました。今の金額を聞いて少し驚きましたが、全国的にも公共施設としての博物館の維持は非常に難しい状況にあります。そのような中で、八戸市博物館がリニューアルにより新しく生まれ変わるという報告を聞き、博物館を愛好する立場として大変うれしく思いました。

個人的な報告ですが、私が研究している南部菱刺しが、先日文化庁の文化審議会で「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に指定されました。「津軽・南部の刺し子技術」としての指定です。

リニューアル事業の民俗展示室で取り上げていただくとともに、令和9年を待たずに指定を祝う事業なども企画していただければ大変ありがたく思います。

○事務局

菱刺しについては、協議会終了後に御相談しようと考えていました。数年前に西野こよさんという菱刺し作家の方から多くの資料を御寄贈いただき、展示に十分耐え得る資料が揃っています。今回、きちんとコーナーを設けて取り上げる予定です。監修等について御協力をお願いできればと思います。よろしくお願ひいたします。

●委員

本日の説明とは直接関係ありませんが、先日NHK「歴史探偵」で八戸を舞台にした「お殿様の秘宝」が放送されました。反響はどうだったでしょうか。多くの方から見たいという声はありませんでしたか。非常に良い番組だったと思いますが、いかがでしょうか。

●会長

御存じない方もいるかもしれませんが、先日、毎週水曜日夜10時から放送されているNHK「歴史探偵」という45分番組で、まるまる八戸市博物館が取り上げられました。放送後、私も視聴した方から「初代南部直房のミイラがテレビに出ていた」と話をいただきました。

構成として、最初に三八城公園の南部直房の銅像が映し出され、9代目南部信順の話は全然出てこない内容でした。制作過程でのやり取りについて、事務局から説明をお願いします。

○事務局

放送後、電話で2件ほど問合せがありました。「実際に行けば見られるのか」という内容でした。現在は休館中であること、また番組で紹介された資料は基本的に一般公開して

いないものであることを説明しました。

撮影構成については、最初に初代の話が出た後、誰が収集したかの説明が十分でなく、八戸南部家の宝という形でまとめられていました。そのため、初代が集めたと誤解した方もいました。事前にデモテープをいただいた際に意見は伝えましたが、構成は制作側が主導しており、大きな修正はできませんでした。

○事務局

今の話に補足します。実際に収集したのは9代目であり、九州島津家との関係なども背景にあります。父が蘭癖(らんぺき)大名で海外の品を収集していた影響もありました。その点が十分に伝わらない構成であったことは否めません。

●委員

今後それらを皆様に見せる機会はないのでしょうか。

○事務局

実は、今回NHKでテレビに出演していた研究者は、以前から何度か当館に来て調査を行っています。類似資料として有名なものに、京都の山本読書室の資料があります。江戸時代後半以降、全国の研究者が持ち寄り集積された資料です。それと似たような資料が八戸では一人の人物によって集められた形で存在しています。

様々な分野の研究者が総合的に検討しなければ結論が出ないものが多く、相当な時間を要します。しかし、いつまでも公開しないわけにはいかないとも考えています。公開することで専門家が関心を持ち、新たな知見が得られる可能性もあります。

現時点で決定していることとして、公表は今後になりますが、テレビに出演していた大阪大学総合学術博物館の伊藤謙先生が4月に来館し、番組内容も含めて報告会のような形で説明される予定です。

●会長

よろしいでしょうか。先ほどの説明のとおり、やや誤解を招く構成であったため、私も放送後に少しすっきりしない気持ちがありました。

●委員

今回も興味深く会議に参加しています。今のNHK「歴史探偵」ですが、どの方法で視聴できますか。会長がおっしゃった違和感というものを自分の目で確認したいと思います。再放送やオンデマンド配信はありますか。

○事務局

放送後1週間はNHKのホームページで視聴できました。現在はNHKオンデマンドで

視聴可能かと思いますが、再放送については選挙やオリンピックなどの編成事情により未定との連絡を受けています。

●委員

ぜひ再放送をお願いしたいと思います。可能であれば、委員や関係者からも意見を伝えていただき、構成上の誤解があれば伝達していただければと思います。実物が見られない資料がテレビで紹介されたという点に強い関心を持ちましたので、再放送を強く希望します。

●会長

それでは次の委員、お願いします。

●委員

丁寧な説明ありがとうございました。昨年度、根城中学校に勤務しておりましたが、「大銀杏を元気にしようプロジェクト」に生徒が参加しました。地元の子どもであっても新鮮な感想を持ち帰り、大変有意義な体験であったと感じました。今年度も継続されることで、環境整備事業であると同時に教育普及活動としても意義があると考えます。部活動の地域移行が進み、合同部活動や実証事業が行われていますが、スポーツ活動が中心となる傾向があります。文化活動の受け皿として、美術館等と同様に博物館も役割を果たせると良いと感じました。

●委員

今の件について何かありますか。先日のイチョウ再生プロジェクトですが、取材はありましたが記事はどうでしたか。

○事務局

記事は掲載されました。昨年より小さい扱いでしたが、写真も掲載されています。

●会長

それでは次の委員、お願いします。

●委員

説明ありがとうございました。私は小学校に勤務していますが、リニューアルを心待ちにしています。八戸市中心部に子どもを連れて行き、博物館で学習させたいと考えています。体験コーナーや遊びの要素がある展示があると活用しやすいと感じます。総合的な学習の時間で、長七谷地貝塚や南部菱刺し、南部せんべいの製作体験などを計画していました。縄文館の見学も含め、体験活動と組み合わせることで学習効果が高ま

ると考えます。昼食をとれる場所もありますので、体験と見学を組み合わせた活用ができればありがたいと思います。

●会長

それでは次の委員、お願いします。

●委員

本日の説明ありがとうございました。リニューアル事業の中で子どもゾーンの設置案がありましたが、見送られたとのことで残念に思います。小さな子どもは何に興味を持つか分かりません。実際に見て「これだ」と感じる体験が重要です。

ただし、代替となる計画があるとのことですので期待しています。幼稚園にもイベント情報のポスターを送付していただいております、子どもが興味を持つきっかけとなっています。今後も情報提供をお願いします。

●会長

テレビの話題に関連しますが、番組構成の影響は大きいと感じます。先日、民放番組の取材もありました。義経がチンギス・ハーンになったかというテーマでしたが、発言の切り取り方次第で印象が変わるため、慎重に対応しました。放送内容がどのようになるか不安もあります。

●委員

質問ですが、源義経は本当に八戸に来たのでしょうか。白銀出身で、子どもの頃からその話を聞いてきましたが、実際はどうでしょうか。

●会長

来訪の有無を断定することが目的ではありません。民俗学的視点から、なぜそのような伝説が生まれ、地域に伝承されてきたのかを探究することが重要です。地域の信仰や伝統を否定することにならないよう配慮が必要です。

●委員

分かりました。ありがとうございます。

●会長

ほかに何か御意見か感想はございますか。ないようですのでこれで案件を全て終了します。それでは事務局にお返しいたします。